

2023年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科											
応用演技Ⅰ											
対象	2年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	オーハシヨースケ			実務経験	有	職種	俳優・演出・演劇教育家				
担当教員紹介											
国際交流基金フェローシップでベルギーに、文化庁でイギリスに留学。1985年にモリムラルミコとTAICHI-KIKAKU設立し「身体詩」という新しい「劇」分野を切り開き世界24カ国100回の海外公演に主演。カイロ国際実験演劇祭BEST ACTOR AWARD受賞。著書「立ち位置の法則」（かんき出版）など。											
授業概要											
インボデイメント・エクササイズ ～身体性を深めるカラダ作り～ インボデイメント(EMBODIMENT)の視点、すなわち心とカラダを一つに捉える視点からドラマする力、演劇性を深かめる身体を練り上げるカラダ作りをする。											
到達目標											
相手を受け取る、言葉やイメージを受け取とれるカラダの感受能力をプロとしての俳優・声優、身体表現者の域に高める。 想いをリアルに身体で表現できる、象徴的な身体表現ができ声と動きとキャラクターを一体的に表現できる、ドラマを創るプロとしてのカラダのしなやかさと強度を身を高める											
授業方法											
毎回基本フィジカルトレーニングとして、3つのムーブ、3つのほぐし、言葉の体操(アハメーション)を実施。 カラダ＝ココロの原則に則り、各回一つのテーマに沿ったEMBODIMENTエクササイズを実施する。											
成績評価方法											
授業での積極性、こちらが出す課題への適格なプレゼンテーション、エチュードの表現力等を採点していく。 また、振り返りとしてレポートを提出してもらい、採点をする。											
履修上の注意											
フロアシューズなど上履き、ジャージ等体操着を着用。アリーナを他学科と共同使用なので使用上のルールを守る。											
教科書教材											
ベーシックテキストを使用。必要に応じて印刷物を配布。											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス 立つ～自分の重心を知る～重量を感じる 足裏で自分の重さを知るところから始める										
第2回	受ける・感受する：重力を感受する相手を受ける～後ろ倒れ～ 昆布と波 2人組手裏剣で知るコミュニケーションの原則										
第3回	脱力：筋肉弛緩法 脱力倒れ、 ねによろ、ぶら下がり										
第4回	歩く：ふつうに歩く、後ろ向き・横向き歩き キャラクターと歩き方：大きく歩く、小さく歩く、4つのキャラ別歩き方										
第5回	ゆだねる:金魚ゆすり 3人組振り子 ブラインドウォーク										

2023年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科	
応用演技Ⅰ	
第6回	投げる：声息なげ、石投げ、ボール投げ 自分を投げ出す(前後左右倒れ) 未来に一步踏み出すカラダ自己とうき
第7回	押す引く：パントマイムの壁押し、気のボールの押し引き
第8回	アンサンブルと身体性：すり足で出会いと別れ～仕掛け開き 生垣を作る 手だけで作るカイロスとクロノス マシーンと生花
第9回	ジャグリングと身体性(1)：2つ玉、3つ玉 だめだできない。苦手だと言わない、インナーゲーム理論
第10回	キャラクターと身体性(2)：マスク・仮面を使ってカラダを創る カラダの仮面を作る
第11回	象徴的フォルムと身体性：象徴的フォルムは心の形 今日の海、不思議な動物園
第12回	感情、情動、体性感覚と身体性：感情とからだ。非認知的能力とは？大泣き、激怒、喜怒哀楽の身体(全て声は無し)
第13回	声を身体化する：オイリュトミーの身体性。 動物発声、動きとカラダ、アワ唄 声とカラダの関係 響き歩き
第14回	癒しと身体性：癒しのフィジカル・スキル 癒しのヨーガ、マッサージング
第15回	自己実現の身体性：現在過去未来のカラダ カーテンコール 身体でイメージする